

(1) 名称等

施設名称	〇〇〇〇ビル	所有者等	株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
所在地	札幌市〇〇区〇〇～	報告書作成 担当者	〇〇 〇〇 電話 011-XXX-XXXX
建築物環境衛生 管理技術者	〇〇 〇〇	(他の施設との兼任)	有・ <input type="checkbox"/> 無 (市外を含む)
注) 建築物環境衛生管理技術者は、登録業の監督者等と、兼務がないことを確認すること (市外を含む)			

該当する特定建築物に関して、保健所に届出している内容を記載してください。(〇号館、〇〇棟など複数に分けて届出している場合は、それぞれの特定建築物について提出してください。)

届出内容に変更があった場合には、特定建築物変更届書と必要な添付書類を提出してください。また、建築物環境衛生管理技術者については、札幌市外の特定建築物も含め、兼任施設の有無を記載するとともに、別途登録業の監督者等と兼務がないことを確認してください。

なお、報告書の内容に関して、確認事項がある場合には、作成担当者の電話番号へご連絡させていただきます。

(2) 飲料水

飲料水の管理	飲料水の種類	飲用・炊事用・浴用・手洗用 洗浄装置付便器用・その他()		給湯器の湯 (太枠は中央式のみ)		
	水源	市水道水・専用水道水 その他の井水・その他()		市水道水・専用水道水 その他の井水・その他()		
	受水槽 (貯湯槽)	有効容量	〇〇 m ³	(貯湯槽)	〇〇 <input type="checkbox"/> m ³	
		型式	床上型・床下型		床上型・床下型	
	給水方式	市水道直結方式・高置水槽方式 加圧ポンプ方式・その他()		市水道直結方式・高置水槽方式 加圧ポンプ方式・その他()		
	残留塩素 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査結果	適合・不適合		適合・不適合・省略(末端温度60度) (55度以上の場合は残留塩素検査のみ省略可能)	
	水質検査 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	前期 (〇〇・〇〇・〇〇) 後期 (〇〇・〇〇・〇〇)	前期 (〇〇・〇〇・〇〇) 後期 (〇〇・〇〇・〇〇)		
		前期	検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()
			検査項目	16項目・省略項目		16項目・省略項目
		後期	検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()
検査項目	16項目・省略項目		16項目・省略項目			
消毒副生成物等 12項目 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	今回 (〇〇・〇〇・〇〇) 前回 (〇〇・〇〇・〇〇)	今回 (〇〇・〇〇・〇〇) 前回 (〇〇・〇〇・〇〇)			
	今回の検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()		
有機化学物質 7項目(地下水) (<input type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	今回 (. .) 前回 (. .)	今回 (. .) 前回 (. .)			
	今回の検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()		
貯水槽(貯湯槽) の清掃	清掃年月日	今回 (〇〇・〇〇・〇〇) 前回 (〇〇・〇〇・〇〇)	今回 (〇〇・〇〇・〇〇) 前回 (〇〇・〇〇・〇〇)			
給水用防錆剤 (<input type="checkbox"/> 写添付)	使用の有無	有()・ <input type="checkbox"/> 無				
	水質検査	適合・不適合()				
簡易専用水道については大臣登録検査機関の受検		今回 (〇〇・〇〇・〇〇) 前回 (〇〇・〇〇・〇〇)				
注) 飲料水とは、飲用その他生活用(炊事用、浴用(旅館の大浴場は除く)、手洗用、洗浄装置付便器用、給湯器用など)の水です。 注) 水源別に3つ以上の飲料水系統がある場合は、2枚以上に分けて作成してください。						

① 飲料水の種類・水源

該当する項目を○または□で囲んでください。加熱装置や貯湯槽など加熱設備を設置し、給湯管によって湯を各所に供給している場合(中央式)には、右列に記載してください。

② 受水槽(貯湯槽)

受水槽及び貯湯槽を設置している場合は、有効容量を記載し、該当する型式を○または□で囲んでください。

- ③ 給水方式
該当する給水方式を○または□で囲んでください。市水道直結方式の場合、飲料水の管理に関する以降の記載は不要です。
- ④ 残留塩素
検査結果について○または□で囲んでください。また、検査結果書の写しを添付してください。なお、中央式給湯設備で末端給湯栓の水温が55℃以上に保持されている場合、残留塩素の測定を省略することができます。(この場合においても、日常の定期水質検査の色、濁り、臭い、味の検査は必要です。)
- ⑤ 水質検査
水質検査実施年月日を記載し、検査結果・検査項目について○または□で囲んでください。また、検査結果書の写しを添付してください。
- ⑥ 消毒副生成物等12項目
6月1日から9月30日までに実施した消毒副生成物等12項目の水質検査の実施年月日を記載し、検査結果について○または□で囲んでください。また、検査結果書の写しを添付してください。
- ⑦ 有機化学物質7項目
専用水道を除く、水源に井水等を使用している施設で、3年以内ごとに1回実施する有機化学物質7項目の検査を実施した場合、検査実施年月日を記載し、検査結果について○または□で囲んでください。また、検査結果書の写しを添付してください。
- ⑧ 貯水槽(貯湯槽)の清掃
清掃年月日を記載してください。(貯水槽(貯湯槽)清掃は1年以内ごとに1回、実施してください。)
- ⑨ 給水用防錆剤
給水用に防錆剤を使用している場合は、()内に薬剤名を記載し、水質検査結果について○または□で囲んでください。また、水質検査結果書の写しを添付してください。
- ⑩ 簡易専用水道については大臣登録検査機関の受検
簡易専用水道に該当する場合には、大臣登録を受けた検査機関による受検日を記載してください。(簡易専用水道の検査は、毎年1回以上定期的に受検してください。)

(3) 雑用水の管理

雑用水の管理	種別	飲料系統との別	使用水の種類	残留塩素 (1回/7日)	pH・臭気・外観 (1回/7日)	大腸菌 (1回/2月)	濁度 (1回/2月)	雑用水槽の点検
				<input checked="" type="checkbox"/> 写添付				
雑用水の管理	散水・修景・清掃	同系統	市水道水・専用水道水	適合	適合	適合	適合	有・無
		別系統	その他の井水・その他()	不適合	不適合	不適合	不適合	
	水洗便所	同系統	市水道水・専用水道水	適合	適合	適合		有・無
		別系統	その他の井水・その他()	不適合	不適合	不適合		
その他の雑用水	同系統	市水道水・専用水道水	適合				有・無	
		別系統	その他の井水・その他()	不適合				

注) 使用水が、次に該当する場合は検査対象外です。①市水道水 ②専用水道の水 ③旅館で浴場水と同系統の水

清掃用や水洗便所用等の使用水の種類と飲料系統との別について○または□で囲んでください。飲料水以外の水を使用している場合には、必要な水質検査等に関する結果について○または□で囲み、水質検査結果書の写しを添付してください。

(4) 空気環境の測定

空気環境の測定	設備の種類		測定結果			不適合の場合の改善措置方法	改善措置後の状況
	空気調和設備・機械換気設備・その他()		延べ測定箇所数	延べ適合箇所数	適合率(%)		
	測定項目	測定結果(写添付)					
空気環境の測定	浮遊粉じんの量	36	33	92	フィルタの清掃を実施	改善適合率が上昇	
	一酸化炭素の含有率	36	36	100			
	二酸化炭素の含有率	36	32	89	居室内のレイアウト変更	変わらず。他の措置を検討中	
	温度	72	60	83	設定温度を変更	改善適合率が上昇	
	相対湿度	72	42	58	個別に加湿器を設置	変わらず	
	気流	72	72	100			
	ホルムアルデヒド (新築・増築、大規模修繕・模様替時)						

注) 空気調和設備、機械換気設備であれば、個別制御方式であっても測定は必要です。

① 設備の種類

該当する項目を○または□で囲んでください。その他の場合は、()内に具体的に記載してください。

空気調和設備：空気を浄化し、その温度、湿度及び流量を調節して供給をすることができる設備

機械換気設備：空気を浄化し、その流量を調節して供給をすることができる設備（温度、湿度調整はできないもの）

その他：自然換気など、空気を浄化する設備のないもの

② 測定項目・測定結果

それぞれの設備において規定されている測定項目について、測定結果を記載し、結果書の写しを添付してください。

空気調和設備：浮遊粉じんの量、一酸化炭素の含有率、二酸化炭素の含有率、温度、湿度、気流

機械換気設備：浮遊粉じんの量、一酸化炭素の含有率、二酸化炭素の含有率、気流

また、それぞれの測定項目について、延べ測定箇所数、延べ適合箇所数、適合率を計算し、記載してください。なお、浮遊粉じんの量、一酸化炭素の含有率及び二酸化炭素の含有率は、1日の使用時間中の平均値をもって基準と比較することとされています。

・延べ適合箇所数の計算方法

浮遊粉じんの量、一酸化炭素・二酸化炭素の含有率：「(1回の測定箇所数) × (年間の測定回数)」

温度、湿度、気流：「(1回の測定箇所数) × (1日の測定回数) × (年間の測定回数)」

ホルムアルデヒドについては、新築・増築や大規模修繕、模様替え等を実施した場合には、工事完了後の最初に到来する6月1日から9月30日までの間に実施したホルムアルデヒドの測定結果を記載し、結果書の写しを添付してください。

(5) 空調設備等の管理

空調設備等の管理	使用水	冷却塔	飲料系統との別	<input checked="" type="checkbox"/> 同系統・ <input type="checkbox"/> 別系統	水質検査(□写添付)	適合 ・ 不適合
			水源	<input checked="" type="checkbox"/> 市水道水・ <input type="checkbox"/> 専用水道水・その他の井水・その他()		
	加湿装置	飲料系統との別	<input checked="" type="checkbox"/> 同系統・ <input type="checkbox"/> 別系統	水質検査(<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	<input checked="" type="checkbox"/> 適合・ <input type="checkbox"/> 不適合	
		水源	<input checked="" type="checkbox"/> 市水道水・ <input checked="" type="checkbox"/> 専用水道水・その他の井水・その他()			
点検回数	冷却塔・冷却水		1回/月			
	加湿装置		1回/月			
	空調設備内の排水受け		1回/月			
清掃回数	冷却塔	1回/年	清掃年月日	R00・00・00		
	冷却水の水管	1回/年		R00・00・00		
	加湿装置	1回/年		R00・00・00		
注) 使用水が飲料系統と別系統の場合は、飲料水と同様の水質検査が必要です。						

冷却塔、加湿装置を使用している場合は、それぞれの項目について記載してください。

① 使用水

使用水について該当する項目を○または□で囲んでください。使用水が飲料系統と別系統の場合は、水質検査結果について○または□で囲み、水質検査結果書の写しを添付してください。

② 点検回数

冷却塔・冷却水、加湿装置及び空調設備内の排水受けの点検頻度について記載してください。(点検は、使用開始時及び使用している期間において1ヶ月以内ごとに1回実施してください。)

③ 清掃回数

冷却塔、冷却水の水管、加湿装置の清掃頻度及び実施年月日を記載してください。(清掃は、1年以内ごとに1回実施してください。)

(6) 排水の管理

排水の管理	雑排水槽の清掃	2回/年	清掃年月日	R00・00・00	
	汚水槽の清掃	1回/年		R00・00・00	
	排水管の清掃	2回/年		R00・00・00	
	阻集器の清掃	2回/年		R00・00・00	

使用している排水設備について、清掃頻度及び実施年月日を記載してください。(雑排水槽、汚水槽、排水管および阻集器等の排水設備の清掃は、6ヶ月以内ごとに1回実施してください。)

(7) 清掃

清掃	日常の掃除	1回/日			
	大掃除	2回/年	大掃除年月日	R〇〇・〇〇・〇〇	R〇〇・〇〇・〇〇

日常の清掃の実施頻度、大掃除の実施頻度及び大掃除の実施年月日を記載してください。(日常清掃は1日1回以上、大掃除は6ヶ月以内ごとに1回実施してください。)

(8) ねずみ等の防除

ねずみ等の防除	種別	生息	調査回数	調査年月日							
	ねずみ	有・無	有	2回/年	R〇〇・〇〇・〇〇	R〇〇・〇〇・〇〇	・	・	・	・	・
ゴキブリ	有・無	有	2回/年	R〇〇・〇〇・〇〇	R〇〇・〇〇・〇〇	・	・	・	・	・	・
チョウバエ	有・無	有	2回/年	R〇〇・〇〇・〇〇	R〇〇・〇〇・〇〇	・	・	・	・	・	・
ハエ・カ	有・無	有	2回/年	R〇〇・〇〇・〇〇	R〇〇・〇〇・〇〇	・	・	・	・	・	・

ねずみ等の防除について、調査の実施頻度及び調査年月日を記入してください。(ねずみ等の防除は6ヶ月以内ごとに1回実施してください。なお、食料を扱う区域や廃棄物保管庫等、特にねずみが発生しやすい箇所については、2ヵ月以内ごとに1回その生息状況を調査し、必要に応じて発生を防止する措置を講じてください。)

※ 報告期間等

- ① この報告書は、前年4月1日から3月31日までの維持管理についての報告です。
- ② 提出期限は、毎年5月31日までです。
- ③ 該当しない項目は、斜線を引いてください。
- ④ 記入欄が不足した場合は、2枚以上に分けて作成してください。

問い合わせ先 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
 札幌市保健所環境衛生課ビル衛生係
 電話：011-622-5165 FAX：011-622-5177

特定建築物維持管理報告書
(令和〇年度分)

用途	区	番号

記載例

ROO年〇〇月〇〇日

施設名称	〇〇〇〇ビル	所有者等	株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
所在地	札幌市〇〇区〇〇～	報告書作成者 担当	〇〇 〇〇 電話 011-XXX-XXXX
建築物環境衛生 管理技術者	〇〇 〇〇	(他の施設との兼任)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 (市外を含む)

注) 建築物環境衛生管理技術者は、登録業の監督者等と、兼務がないことを確認すること(市外を含む)

飲料水の管理	飲料水の種類	飲用・炊事用・浴用・手洗用 洗浄装置付便器用・その他()		給湯器の湯(太枠は中央式のみ)		
	水源	市水道水・専用水道水 その他の井水・その他()		市水道水・専用水道水 その他の井水・その他()		
	受水槽 (貯湯槽)	有効容量	〇〇 m ³		(貯湯槽) 〇〇 〇 m ³	
		型式	床上型・床下型		床上型・床下型	
	給水方式	市水道直結方式・高置水槽方式 加圧ポンプ方式・その他()		市水道直結方式・高置水槽方式 加圧ポンプ方式・その他()		
	残留塩素 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査結果	適合・不適合		適合・不適合・省略(末端温度60度) (55度以上の場合は残留塩素検査のみ省略可能)	
	水質検査 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	前期(ROO・〇〇・〇〇) 後期(ROO・〇〇・〇〇)		前期(ROO・〇〇・〇〇) 後期(ROO・〇〇・〇〇)	
		前期	検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()
			検査項目	16項目・省略項目		16項目・省略項目
		後期	検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()
検査項目	16項目・省略項目		16項目・省略項目			
消毒副生成物等 12項目 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	今回(ROO・〇〇・〇〇) 前回(ROO・〇〇・〇〇)		今回(ROO・〇〇・〇〇) 前回(ROO・〇〇・〇〇)		
	今回の検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()		
有機化学物質 7項目(地下水) (<input type="checkbox"/> 写添付)	検査年月日	今回()・()・() 前回()・()・()		今回()・()・() 前回()・()・()		
	今回の検査結果	適合・不適合()		適合・不適合()		
貯水槽(貯湯槽) の清掃	清掃年月日	今回(ROO・〇〇・〇〇) 前回(ROO・〇〇・〇〇)		今回(ROO・〇〇・〇〇) 前回(ROO・〇〇・〇〇)		
給水用防錆剤 (<input type="checkbox"/> 写添付)	使用の有無	有()・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	水質検査	適合・不適合()				
簡易専用水道については大臣登録検査機関の受検			今回(ROO・〇〇・〇〇) 前回(ROO・〇〇・〇〇)			

注) 飲料水とは、飲用その他生活用(炊事用、浴用(旅館の大浴場は除く)、手洗用、洗浄装置付便器用、給湯器用など)の水です。
注) 水源別に3つ以上の飲料水システムがある場合は、2枚以上に分けて作成してください。

雑用水の管理	種別	飲料系統との別	使用水の種類	残留塩素 (1回/7日)	pH・臭気・外観 (1回/7日)	大腸菌 (1回/2月)	濁度 (1回/2月)	雑用水槽 の点検
				(<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)				
	散水・修景 ・清掃	同系統	市水道水・専用水道水	適合	適合	適合	適合	有・無
		別系統	その他の井水・その他()	不適合	不適合	不適合	不適合	
	水洗便所	同系統	市水道水・専用水道水	適合	適合	適合	適合	有・無
その他の雑用水	別系統	同系統	市水道水・専用水道水	適合	適合	適合	適合	有・無
		別系統	その他の井水・その他()	不適合	不適合	不適合	不適合	有・無

注) 使用水が、次に該当する場合は検査対象外です。①市水道水 ②専用水道の水 ③旅館で浴場水と同系統の水

記載例

空気環境の測定	設備の種類	空気調和設備・機械換気設備・その他（ ）					
	測定項目	測定結果			不適合の場合の改善措置方法	改善措置後の状況	
		延べ測定箇所数	延べ適合箇所数	適合率(%)			
	測定結果 (<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	浮遊粉じんの量	36	33	92	フィルタの清掃を実施	改善適合率が上昇
		一酸化炭素の含有率	36	36	100		
		二酸化炭素の含有率	36	32	89	居室内のレイアウト変更	変わらず。他の措置を検討中
		温度	72	60	83	設定温度を変更	改善適合率が上昇
		相対湿度	72	42	58	個別に加湿器を設置	変わらず
気流		72	72	100			
ホルムアルデヒド (新築・増築、大規模修繕・模様替時)							
注) 空気調和設備、機械換気設備であれば、個別制御方式であっても測定は必要です。							

空調設備等の管理	使用水	冷却塔	飲料系統との別	<input checked="" type="checkbox"/> 同系統・別系統	水質検査(<input type="checkbox"/> 写添付)	適合・不適合	
		水源	<input checked="" type="checkbox"/> 市水道水・専用水道水・その他の井水・その他（ ）				
	加湿装置	飲料系統との別	同系統・別系統	水質検査(<input checked="" type="checkbox"/> 写添付)	<input checked="" type="checkbox"/> 適合・不適合		
		水源	市水道水・専用水道水・その他の井水・その他（ ）				
	点検回数	冷却塔・冷却水	1回/月				
		加湿装置	1回/月				
		空調設備内の排水受け	1回/月				
	清掃回数	冷却塔	1回/年	清掃年月日	R00・00・00		
冷却水の水管		1回/年	R00・00・00				
加湿装置		1回/年	R00・00・00				
注) 使用水が飲料系統と別系統の場合は、飲料水と同様の水質検査が必要です。							

排水の管理	雑排水槽の清掃	2回/年	清掃年月日	R00・00・00	
	汚水槽の清掃	回/年		R00・00・00	
	排水管の清掃	2回/年		R00・00・00	
	阻集器の清掃	2回/年		R00・00・00	

清掃	日常の掃除	1回/日			
	大掃除	2回/年	大掃除年月日	R00・00・00	R00・00・00

ねずみ等の防除	種別	生息	調査回数	調査年月日					
	ねずみ	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2回/年	R00・00・00	R00・00・00	・	・	・	・
	ゴキブリ	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2回/年	R00・00・00	R00・00・00	・	・	・	・
	チョウバエ	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	2回/年	R00・00・00	R00・00・00	・	・	・	・
	ハエ・カ	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2回/年	R00・00・00	R00・00・00	・	・	・	・

※ 報告期間等

- ① この報告書は、4月1日から翌年3月31日までの維持管理についての報告です。
- ② 提出期限は、毎年1回、5月31日までです。
- ③ 該当しない項目は、斜線を引いてください。
- ④ 記載欄が不足した場合は、2枚以上に分けて作成してください。